

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第106回)

2023年 4月～6月期 実績

2023年 7月～9月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
(1) 設問に対する業種別回答	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
(2) 業種別D I 値について	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
(3) 全体D I 値について	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
(4) 比較資料編	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 (中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観)	

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 2023年6月
- ② 調査対象期間 今期(2023年4月～6月期)に対する前期(2023年1月～3月期)及び前年同期(2022年4月～6月期)との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ(製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業)に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて按分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数		回答数	回答率
全体	270	→	211	78.1 (%)
輸送機器	40	→	32	80.0 (%)
その他製造	40	→	35	87.5 (%)
建設業	50	→	41	82.0 (%)
卸売業	30	→	20	66.7 (%)
小売業	40	→	29	72.5 (%)
サービス業	70	→	54	77.1 (%)

5. D I 値について

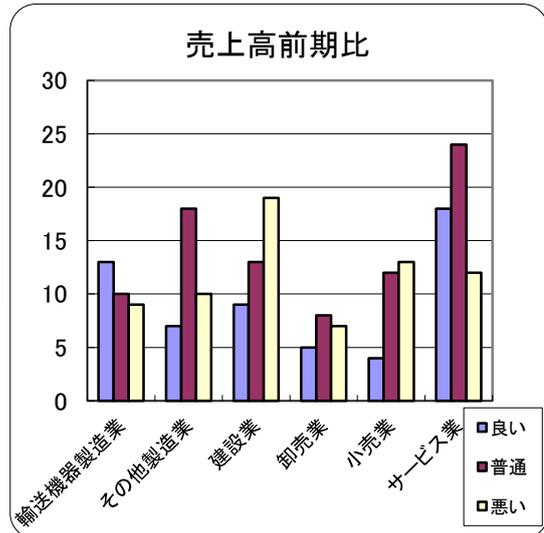
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い(増加)と答えた企業の割合から、悪い(減少)と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例: ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

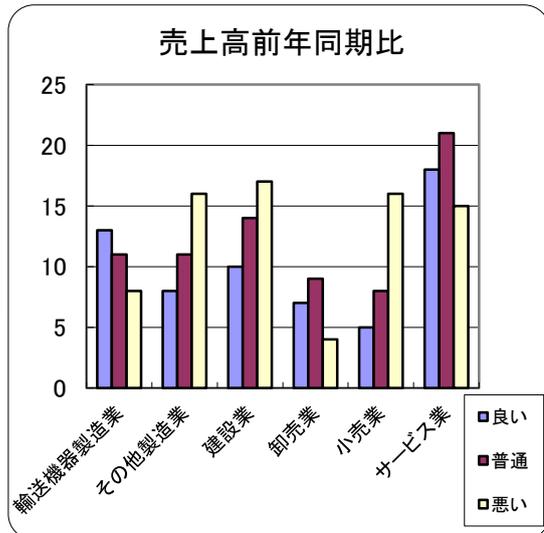
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	13	10	9	32	12.5
その他製造業	7	18	10	35	▲ 8.6
建設業	9	13	19	41	▲ 24.4
卸売業	5	8	7	20	▲ 10.0
小売業	4	12	13	29	▲ 31.0
サービス業	18	24	12	54	11.1
合計	56	85	70	211	▲ 6.6



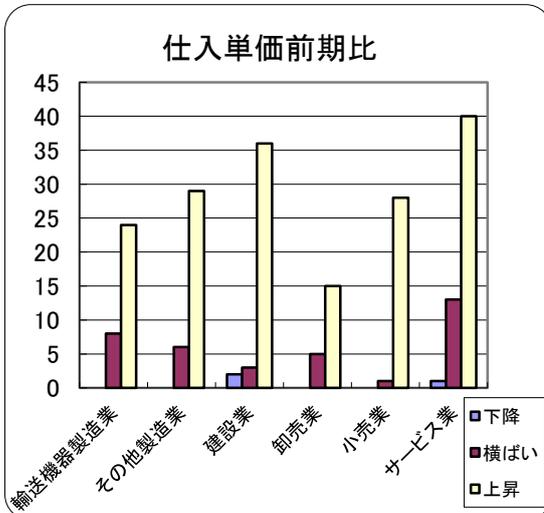
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	13	11	8	32	15.6
その他製造業	8	11	16	35	▲ 22.9
建設業	10	14	17	41	▲ 17.1
卸売業	7	9	4	20	15.0
小売業	5	8	16	29	▲ 37.9
サービス業	18	21	15	54	5.6
合計	61	74	76	211	▲ 7.1



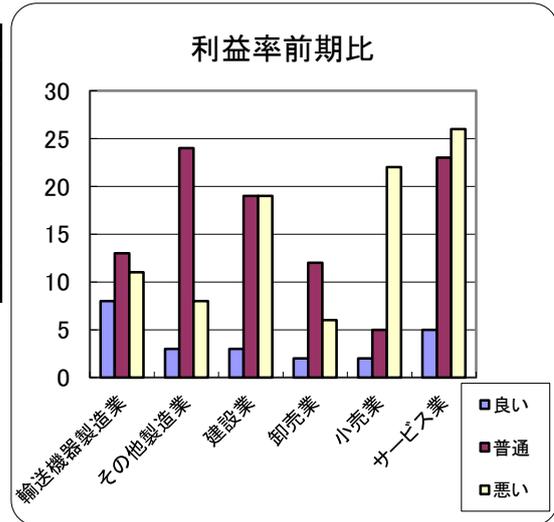
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	8	24	32	▲ 75.0
その他製造業	0	6	29	35	▲ 82.9
建設業	2	3	36	41	▲ 82.9
卸売業	0	5	15	20	▲ 75.0
小売業	0	1	28	29	▲ 96.6
サービス業	1	13	40	54	▲ 72.2
合計	3	36	172	211	▲ 80.1



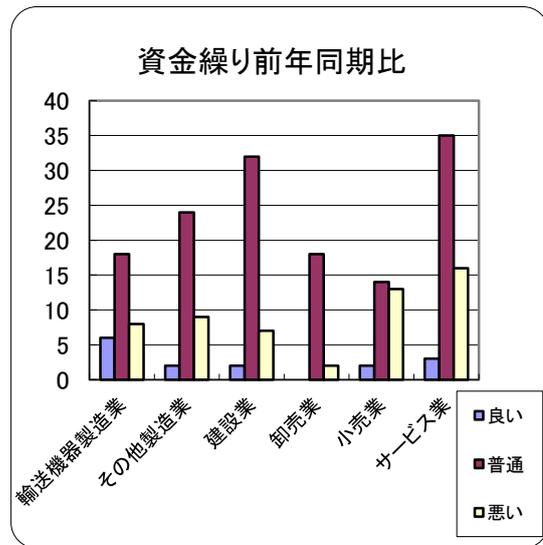
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	8	13	11	32	▲ 9.4
その他製造業	3	24	8	35	▲ 14.3
建設業	3	19	19	41	▲ 39.0
卸売業	2	12	6	20	▲ 20.0
小売業	2	5	22	29	▲ 69.0
サービス業	5	23	26	54	▲ 38.9
合計	23	96	92	211	▲ 32.7



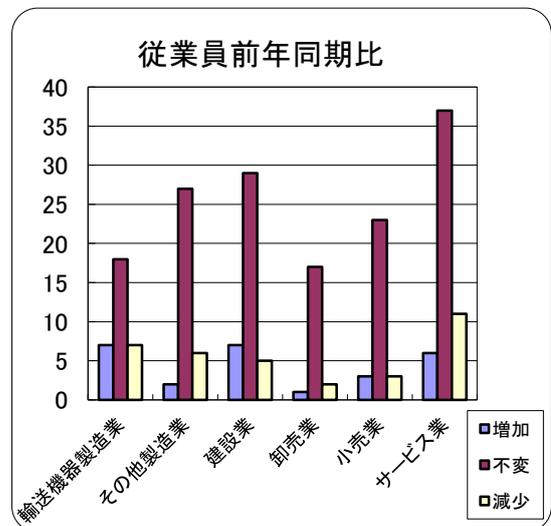
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	18	8	32	▲ 6.3
その他製造業	2	24	9	35	▲ 20.0
建設業	2	32	7	41	▲ 12.2
卸売業	0	18	2	20	▲ 10.0
小売業	2	14	13	29	▲ 37.9
サービス業	3	35	16	54	▲ 24.1
合計	15	141	55	211	▲ 19.0



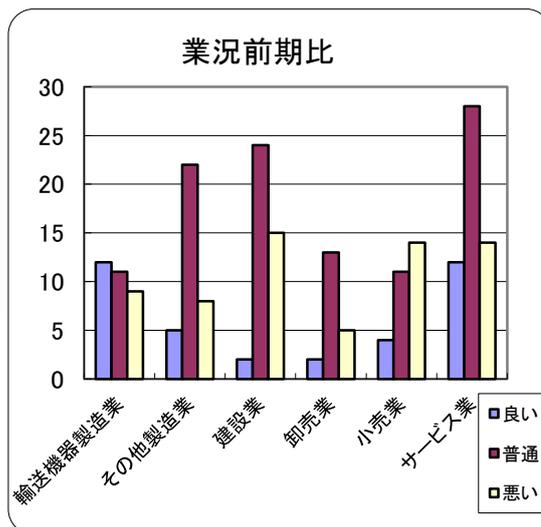
従業員前年同期比

	増加	不変	減少	合計	DI値
輸送機器製造業	7	18	7	32	0.0
その他製造業	2	27	6	35	▲ 11.4
建設業	7	29	5	41	4.9
卸売業	1	17	2	20	▲ 5.0
小売業	3	23	3	29	0.0
サービス業	6	37	11	54	▲ 9.3
合計	26	151	34	211	▲ 3.8



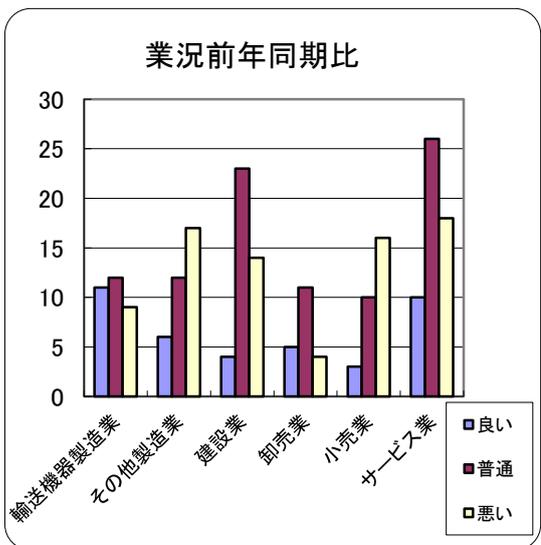
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	12	11	9	32	9.4
その他製造業	5	22	8	35	▲ 8.6
建設業	2	24	15	41	▲ 31.7
卸売業	2	13	5	20	▲ 15.0
小売業	4	11	14	29	▲ 34.5
サービス業	12	28	14	54	▲ 3.7
合計	37	109	65	211	▲ 13.3



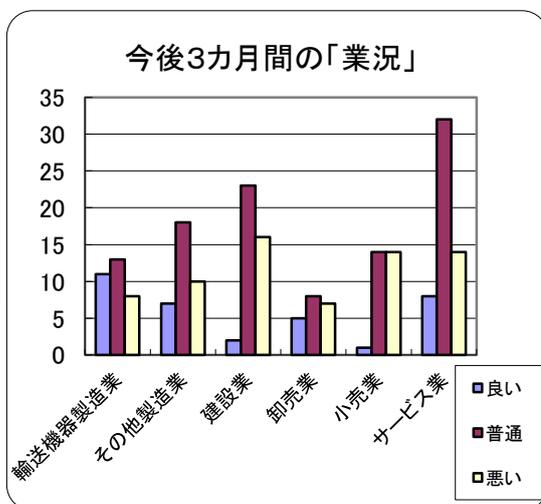
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	11	12	9	32	6.3
その他製造業	6	12	17	35	▲ 31.4
建設業	4	23	14	41	▲ 24.4
卸売業	5	11	4	20	5.0
小売業	3	10	16	29	▲ 44.8
サービス業	10	26	18	54	▲ 14.8
合計	39	94	78	211	▲ 18.5



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	11	13	8	32	9.4
その他製造業	7	18	10	35	▲ 8.6
建設業	2	23	16	41	▲ 34.1
卸売業	5	8	7	20	▲ 10.0
小売業	1	14	14	29	▲ 44.8
サービス業	8	32	14	54	▲ 11.1
合計	34	108	69	211	▲ 16.6



(2)業種別DI値について

輸送機器	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 30.3	12.5	42.8
売上高前年同期比	▲ 6.1	15.6	21.7
仕入単価前期比	▲ 72.7	▲ 75.0	▲ 2.3
利益率前期比	▲ 42.4	▲ 9.4	33.0
資金繰り前年同期比	▲ 18.2	▲ 6.3	11.9
従業員前年同期比	0.0	0.0	0.0
業況前期比	▲ 30.3	9.4	39.7
業況前年同期比	▲ 12.1	6.3	18.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 9.1	9.4	18.5

[企業コメントより]

- ・売上が減少している【制動部品】
- ・材料単価が前年同期と比較して、約15%上昇している【プレス加工】
- ・今年は自動車部品の開発が立て込んだため、業績は良くなかった。来年はEV車の開発がどうなるかわからないため見通しはたたない。家電関係の開発も少なく、来年からは仕事量の確保が難しいかもしれない【金属部品加工】
- ・仕入単価は変わらないが、上げどまりな状態。仕事量はほぼ同じだが他社からの移管製品の受注があり売上高が少し上昇したものの、資金繰りが厳しいのは変わらない。自己都合の退社が2名、人材確保が難しい感じにはなっている【金属管加工】
- ・半導体問題の影響が小さくなり、生産変更が減ってきた【内装部品製造】
- ・部品の受注が回復しない【プラスチック成型】

その他製造業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 23.5	▲ 8.6	14.9
売上高前年同期比	▲ 14.7	▲ 22.9	▲ 8.2
仕入単価前期比	▲ 76.5	▲ 82.9	▲ 6.4
利益率前期比	▲ 41.2	▲ 14.3	26.9
資金繰り前年同期比	▲ 32.4	▲ 20.0	12.4
従業員前年同期比	▲ 17.7	▲ 11.4	6.3
業況前期比	▲ 41.2	▲ 8.6	32.6
業況前年同期比	▲ 32.4	▲ 31.4	1.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 29.4	▲ 8.6	20.8

[企業コメントより]

- ・原料の生産能力低下による入荷遅れで、生産計画の見直しを余儀なくさせられている状況【ニット製品製造】
- ・前期よりは受注が回復してきている【板金加工】
- ・コロナ後の経済活動の変化、電気代の高騰等により業況が悪化。今後の需要動向を注視している状況となります【冷温熱機器】
- ・コロナの影響が少なくなり、値上げも一段落したことから、全体的に明るい兆しが見え始めてきた。もう一段階の値上げができれば、コロナ前の業況に戻る可能性がある【食料品製造】
- ・5月は収入無し(の状況だった)【インテリア用品製造】
- ・4~6月が例年に比べてかなり動きが悪い。3月までの動きが止まってしまった。量産の部品加工屋さんと話をした時、やはり生産数が減っており、大手は自社で生産できるものは社内にて加工しているので、なかなか小規模の会社には仕事が下りてこないし、もし出しても全国で取り合っている状況とのこと。今期はアルミ価格は横ばいだが、プラスチック価格は上昇している。自動車関係の開発が動き出している様子なので、今後期待したい【プラスチック製品加工】
- ・物価の高騰(が経営に影響している)【梱包用品製造】

建設業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 26.3	▲ 24.4	1.9
売上高前年同期比	▲ 13.2	▲ 17.1	▲ 3.9
仕入単価前期比	▲ 89.5	▲ 82.9	6.6
利益率前期比	▲ 39.5	▲ 39.0	0.5
資金繰り前年同期比	▲ 15.8	▲ 12.2	3.6
従業員前年同期比	5.3	4.9	▲ 0.4
業況前期比	▲ 23.7	▲ 31.7	▲ 8.0
業況前年同期比	▲ 31.6	▲ 24.4	7.2
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 23.7	▲ 34.1	▲ 10.4

[企業コメントより]

- ・見積依頼は多いものの、受注は少なく、売上減少・仕入高騰・職人不足で厳しい状況です【空調工事】
- ・我々の職業は、一発勝負の世界ではないので、地道に営業しながら受注したいと思います。
少ない利益の中で、いかに自己資本を充実しておくかを考えております【総合建設】
- ・長いスパンでの安定感が全く無い状況。その時その時なんとかやり過ごしている感じです【建設付帯工事】

卸売業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	19.1	▲ 10.0	▲ 29.1
売上高前年同期比	0.0	15.0	15.0
仕入単価前期比	▲ 95.2	▲ 75.0	20.2
利益率前期比	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 1.0
資金繰り前年同期比	▲ 23.8	▲ 10.0	13.8
従業員前年同期比	▲ 4.8	▲ 5.0	▲ 0.2
業況前期比	▲ 19.1	▲ 15.0	4.1
業況前年同期比	▲ 33.3	5.0	38.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 14.3	▲ 10.0	4.3

[企業コメントより]

- ・3月に立ち上がった案件も5月前半に落ち着き、以降は情報も乏しい。引き合いはあるが細かいものばかりであり、更に品物不足により物が無く受注につながらない。メーカー各社の話でも売り上げは堅調に推移しているが、これは値上げによるものようである。昨年よりは良いが、今後は厳しくなりそうだ【電気設備用品卸】
- ・住宅リフォームの補助金の件ですが、名前を書いて受付するのでなく、最初から申し込み書類で受け付けていただきたい。後から書類提出だとお客さんのトラブルが多く、キャンセルになってしまうこともある。経費負担も考えています(補助金事業効率化のための提案)【住宅設備卸】
- ・全業態売上増加傾向にあり。飲食店、ホテル、旅館関係は人手不足が散見される。コロナ融資後倒産も見受けられる状況です【飲料卸】
- ・(今後の経営活動方針)新規取引先の立ち上げ/旧取引先との取引再開/新規事業への参入/コロナによる影響の減少、市場の活性化【中古自動車販売】

小売業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 3.2	▲ 31.0	▲ 27.8
売上高前年同期比	▲ 6.5	▲ 37.9	▲ 31.4
仕入単価前期比	▲ 87.1	▲ 96.6	▲ 9.5
利益率前期比	▲ 48.4	▲ 69.0	▲ 20.6
資金繰り前年同期比	▲ 45.2	▲ 37.9	7.3
従業員前年同期比	▲ 6.5	0.0	6.5
業況前期比	▲ 38.7	▲ 34.5	4.2
業況前年同期比	▲ 38.7	▲ 44.8	▲ 6.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 45.2	▲ 44.8	0.4

[企業コメントより]

- ・コストの上昇に困惑しています。それに増して経済と共に不安定要素が強く感じられ、多くの人たちが今後を不安視しているのが、今後のビジネスに大きく影響すると考えております【生花販売】
- ・物価高の影響により、仕入単価の上昇。キャンプブームが落ち着き始め、商品の動きが鈍くなっている。【アウトドア用品製造】
- ・弊社、小売業の為、一般消費者の動きが活発になり、客数、売り上げも少しずつ回復してきました。コロナの3年以上の間に、消費・購買行動がインターネット通販等に大きく変化している為に、インターネットでは満足できない、買うことが出来ない商品・サービスにシフトする必要があります【化粧品販売】
- ・景況調査票を長いこと書かせてもらっていますが、初めての全部「悪い」です【肉類加工品販売】
- ・お天気に左右されるので、猛暑になってほしい。仕入単価の上昇分が価格に転嫁しづらい【飲料販売店】
- ・仕入単価上昇、価格転嫁できず【米穀販売店】
- ・取引メーカーの契約内容の変更により、利益は減少する一方。売り上げは変わらなくても悪化。今後を見据えて、別部門の仕事に力を入れている。【化粧品販売】
- ・コロナ資金の返済が始まったが、業況が好転しないため、資金繰りを圧迫している【生花販売】

サービス業	前期(1~3月期)	今期(4~6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 19.2	11.1	30.3
売上高前年同期比	▲ 9.6	5.6	15.2
仕入単価前期比	▲ 65.4	▲ 72.2	▲ 6.8
利益率前期比	▲ 55.8	▲ 38.9	16.9
資金繰り前年同期比	▲ 36.5	▲ 24.1	12.4
従業員前年同期比	3.9	▲ 9.3	▲ 13.2
業況前期比	▲ 17.3	▲ 3.7	13.6
業況前年同期比	▲ 19.2	▲ 14.8	4.4
今後3ヶ月間の業況見通し	0.0	▲ 11.1	▲ 11.1

[企業コメントより]

- ・従業員のモチベーションの向上(により業績が上向いた)【情報産業】
- ・2023年1~2月は非常に悪かったが、3月から改善に向かう。ほぼ平常に戻ったとみて良い【運輸】
- ・とても悪い【運輸】
- ・コロナ禍で減少した売り上げは上昇しているものの、事業によっては減少しているものもある。エネルギーコスト、原材料費が更に増加、利益捻出困難な状況。そんな中、先行きの見通しはどうか、予想できない【広告代理店】
- ・コロナ5類への移行により少しずつ客足がもどりつつありますが夜はまだまだ悪いです【レストラン】
- ・事業停止又は廃業するお客様が出てきており、アフターコロナとはいえ、営業・売上への打撃は継続している【広告代理店】
- ・コロナ禍には無くなっていた、平日夜、お勤めの方が仕事帰りに打ち合わせを兼ねてのご利用も見受けられるようになった。(~4人位の少人数)
- ・マスクしたままの来店が多い。
- ・2019年比でも平均日商は同程度に戻ってきた。
- ・課題は人件費、光熱費、原材料費の上昇です。特に人件費は上げていかないといけないと考えている。
- ・上記対応するために3月からほぼすべてのメニューを値上げした。
- ・今後はお料理の品質向上、美味しさの更なる追及が主題になる。
- ・他方で今年1月から外販も始めた。レトルトカレーを委託製造し、店内や地元スーパーでの販売にこぎ着けた。販売先の更なる拡大にも力を入れたい【レストラン】
- ・これから業況は良くなると思います。秋と忘・新年と集客増を目指します【飲食サービス】
- ・全世界の経済状況が悪くなるとみて、金属先物相場は右方下がり状況。自動車や電機製品等も部品調達難航が続いているため、我々の製品でもあるスクラップの工場発生量は相変わらず低レベルな状態である。反比例してコストはうなぎ上りで右肩上がり収益は圧迫されるばかり。2024年後半に半導体の問題解消と言われているが、はたしてどれ程の企業が持ちこたえられるか？【資源回収】

- 昨年8月より新聞折り込みチラシを配布した結果、少しずつ効果が表れ、新規客が増えたことで売り上げが上がった【美容】
- 仕入れ原価が何もかも上がりすぎ。便乗値上げも多いのではないかと苛立っています。客足は戻りつつも手放しでは喜べない状況です。テイクアウトも落ち着いてしまい、ここからどの方向へ向かったら良いかがわからず、今は耐えながらできることをこなしている感じです。何をしても結果がすぐに期待できるほどの急な好転が訪れるとは思えず、今は社会の動向を見守りつつ、先の先を見据えた計画を立てなければと思っています【飲食店】
- 今期売上は前期と比べて良いが、仕入単価が上昇しているので利益は減少。従業員は賃金を上げて何とか確保。仕入、水道光熱費、人件費ほぼすべて上昇しているため業況は悪い【飲食業】
- コロナ禍の行動が終息し、通常生活がスタートされた。これからの情勢にしっかりと向き合う経営が必要とされる。経営相談など情報収集する【飲食店】
- 最低賃金の上昇(パート2人の時給アップ)→取引先への値上げ交渉中【不動産】
- コロナの第5類への移行によってお弁当が減り、来店でのお食事が増えました。冷房の季節が来るので、再度コロナの流行が心配です【喫茶店】

(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(1～3月期)	今期(4～6月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 16.7	▲ 6.6	10.1
売上高前年同期比	▲ 9.1	▲ 7.1	2.0
仕入単価前期比	▲ 79.0	▲ 80.1	▲ 1.1
利益率前期比	▲ 43.5	▲ 32.7	10.8
資金繰り前年同期比	▲ 29.2	▲ 19.0	10.2
従業員前年同期比	▲ 2.4	▲ 3.8	▲ 1.4
業況前期比	▲ 27.8	▲ 13.3	14.5
業況前年同期比	▲ 26.8	▲ 18.5	8.3
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 18.7	▲ 16.6	2.1

<動向について>

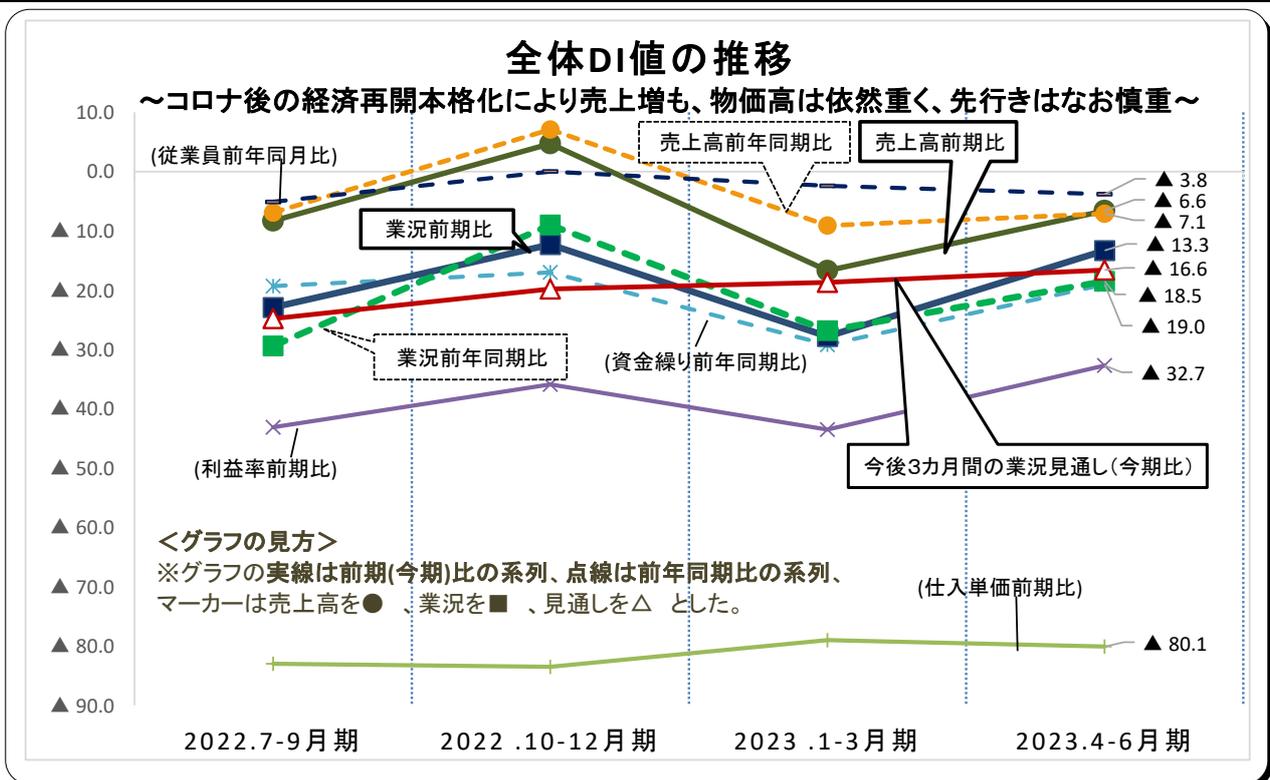
・4～6月期の業況DIは全産業ベースで前期比14.5ポイント上昇。業種別には部品調達難緩和等により輸送

が39.7ポイント、その他製造業が32.6ポイント上昇した。なお、建設業のみ8.0ポイント低下した。

・仕入価格DIは、前期に全産業ベースで悪化が一服した後、横ばい圏内が続く。しかし利益率DIは、物価高続くものの売上回復の基調から卸・小売業を除き上昇した。

・今後3ヵ月間の業況見通しDIは、輸送機器・その他製造業が大幅上昇を見込む一方で、物価高や経費負担増はなお重く建設業とサービス業は低下を予想し、全産業ベースでは2.1ポイントの上昇にとどまった。

全 体 D I 値 の 推 移	2022.7-9月期	2022.10-12月期	2023.1-3月期	2023.4-6月期
売上高前期比	▲ 8.3	4.7	▲ 16.7	▲ 6.6
売上高前年同期比	▲ 6.9	7.1	▲ 9.1	▲ 7.1
仕入単価前期比	▲ 83.0	▲ 83.5	▲ 79.0	▲ 80.1
利益率前期比	▲ 43.1	▲ 35.9	▲ 43.5	▲ 32.7
資金繰り前年同期比	▲ 19.3	▲ 17.0	▲ 29.2	▲ 19.0
従業員前年同期比	▲ 5.1	0.0	▲ 2.4	▲ 3.8
業況前期比	▲ 22.9	▲ 12.3	▲ 27.8	▲ 13.3
業況前年同期比	▲ 29.4	▲ 9.0	▲ 26.8	▲ 18.5
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 24.8	▲ 19.8	▲ 18.7	▲ 16.6



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	1.5	▲ 5.3	-	-
建設業	▲ 24.4	▲ 7.2	-	-
卸売業	▲ 10.0	▲ 4.0	-	-
小売業	▲ 31.0	▲ 13.6	-	-
サービス業	11.1	3.8	-	-
全体	▲ 6.6	▲ 4.6	-	-

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 4.5	-	10.5	2.0
建設業	▲ 17.1	-	▲ 14.3	
卸売業	15.0	-	3.8	
小売業	▲ 37.9	-	▲ 2.2	0.4
サービス業	5.6	-	19.4	
全体	▲ 7.1	-	5.3	0.7

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 79.1	-	▲ 73.1	-
建設業	▲ 82.9	-	▲ 78.0	-
卸売業	▲ 75.0	-	▲ 66.3	-
小売業	▲ 96.6	-	▲ 72.4	-
サービス業	▲ 72.2	-	▲ 67.1	-
全体	▲ 80.1	-	▲ 71.4	-

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 11.9	▲ 20.8	▲ 16.5	▲ 2.2
建設業	▲ 39.0	▲ 27.9	▲ 24.7	
卸売業	▲ 20.0	▲ 12.4	▲ 14.9	
小売業	▲ 69.0	▲ 28.7	▲ 17.6	▲ 3.5
サービス業	▲ 38.9	▲ 16.9	▲ 1.9	
全体	▲ 32.7	▲ 21.9	▲ 14.1	▲ 3.2

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 13.4	▲ 9.6	▲ 12.7	7.0
建設業	▲ 12.2	▲ 6.4	▲ 9.1	
卸売業	▲ 10.0	▲ 6.4	▲ 10.4	
小売業	▲ 37.9	▲ 19.0	▲ 17.2	14.0
サービス業	▲ 24.1	▲ 8.2	▲ 9.4	
全体	▲ 19.0	▲ 10.8	▲ 11.9	11.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 6.0	▲ 2.2	－	－
建設業	4.9	▲ 4.2	－	－
卸売業	▲ 5.0	0.0	－	－
小売業	0.0	▲ 3.0	－	－
サービス業	▲ 9.3	▲ 2.3	－	－
全体	▲ 3.8	▲ 2.6	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	0.0	▲ 10.4	－	▲ 5.0
建設業	▲ 31.7	▲ 9.0	－	14.0
卸売業	▲ 15.0	▲ 9.3	－	8.0
小売業	▲ 34.5	▲ 22.1	－	5.0
サービス業	▲ 3.7	▲ 4.0	－	17.0
全体	▲ 13.3	▲ 10.8	－	5.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）

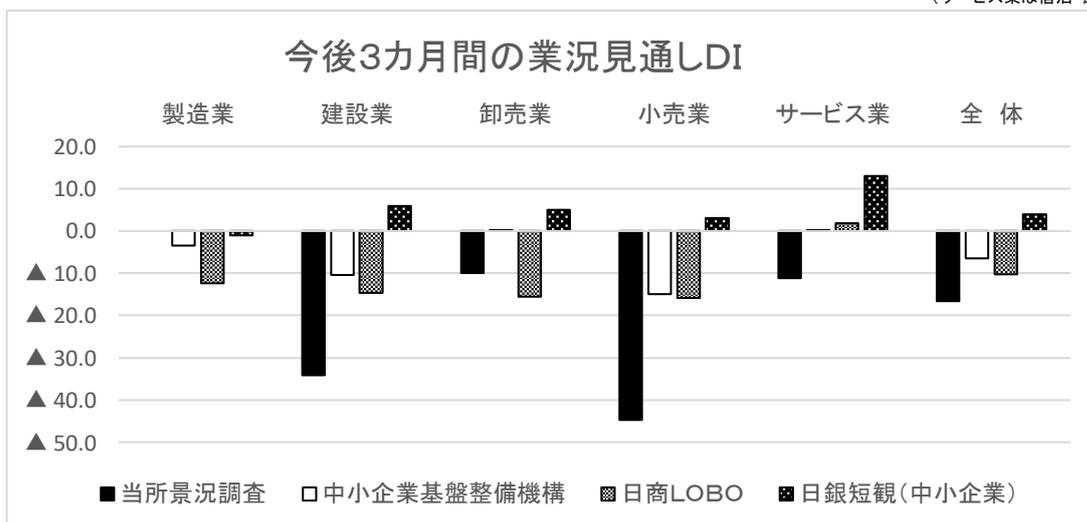
⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 13.4	－	▲ 10.6	－
建設業	▲ 24.4	－	▲ 19.3	－
卸売業	5.0	－	▲ 13.1	－
小売業	▲ 44.8	－	▲ 15.5	－
サービス業	▲ 14.8	－	7.4	－
全体	▲ 18.5	－	▲ 8.7	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	0.0	▲ 3.5	▲ 12.3	▲ 1.0
建設業	▲ 34.1	▲ 10.4	▲ 14.7	6.0
卸売業	▲ 10.0	0.1	▲ 15.6	5.0
小売業	▲ 44.8	▲ 15.0	▲ 15.9	3.0
サービス業	▲ 11.1	0.2	1.8	13.0
全体	▲ 16.6	▲ 6.4	▲ 10.2	4.0

（サービス業は宿泊・飲食の数字）



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2023年（令和5年）7月27日 発行